

１ 日 時 令和８年６月３日（水）午後７時から午後８時４９分

２ 場 所 東淀川区民ホール（Web併用）

３ 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会委員）

生島 篤子副議長、生島 靖委員、上田 真知子委員、植原 孝廣委員、
高井 勝津雄委員、玉山 明子委員、茶谷 恵子委員、古川 由美委員、前川 裕美委員、
山口 勇委員

（東淀川区区政会議 教育・健康・福祉部会委員）

光本 陽子委員

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員（Web参加）、橋本 まさと議員、ますもと さおり議員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員、横道 淳子議員（Web参加）

（東淀川区役所）

吉田地域課長、堀田安心安全企画担当課長、上林企画調整担当課長、藤田窓口サービス課長、
古川企画総務課長、福田地域課長代理、上村企画総務課長代理、山田地域課担当係長
濱口企画総務課担当係長、久保田企画総務課係員

４ 委員に意見を求めた事項

議題（１）令和７年度東淀川区運営方針（自己評価）について

（２）東淀川区将来ビジョン原案について

（３）その他

５ 議事内容（発言者名及び個々の発言内容）

○福田課長代理 それでは定刻となりましたので、ただいまより令和８年度東淀川区区政会議
第１回安全・安心・まちづくり部会を開催いたします。

本日、本部会の司会を務めさせていただきます東淀川区役所地域課の福田と申します。よろ
しくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にもかかわらずご出席を賜りまし

て、誠にありがとうございます。

本日は、オンライン会議も併用しての開催となります。ウェブで参加の委員の方は、後ほど音声確認のほうをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の部会は、21時までの予定としておりますので、議事の円滑な進行にご理解、ご協力をお願いいたします。

それでは、開会に当たり、地域課長の吉田よりご挨拶を申し上げます。

○吉田課長 皆さん、こんばんは。地域課長の吉田でございます。

皆様方には、日頃から東淀川区政の各般にわたりまして、ご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日もお忙しいところ、部会へのご参加、誠にありがとうございます。

昨日、台風6号のことがございまして、ちょっと影響が心配しておったんですけれども、無事に開催することができました。

本日は、令和7年度の東淀川区運営方針の自己評価、それから東淀川区将来ビジョンの原案ということで、それに係るご意見をお伺いする場となっております。全体で2時間という限られた時間ではございますけれども、後ほど行いますワークショップを通じまして、忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。

また、お忙しい中ご参加をいただいております市会議員、府議会議員の皆様におかれまして、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

簡単ではございますけれども、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○福田課長代理 本日も会場及びウェブにて、市会議員、府議会議員の皆様にお越しいただいております。議員の皆様には、条例の規定により、区政会議に出席し、区政会議の議論に資するために必要な助言をすることができるとされておりますので、よろしくお願いいたします。

ここで、本日の定足数の確認をいたします。

本日は、会場に8名の所属委員の方にご出席いただいております。出席者数が委員定数12名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

また、他部会より1名の方にご出席いただいております。

本日の会議の様子につきましては、会議録を後日公表するとともに、写真や動画を撮影し、ホームページなどに掲載させていただくこともございますので、ご了承ください。

会議録の案ができましたら、本日ご発言いただきました委員の皆様にご発言内容をご確認いただく予定ですので、ご協力をお願いいたします。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、配付しております議事次第と出席者名簿及び配席図、あと水色のチラシのほうはお手

元にございますでしょうか。

それ以外の資料といたしまして、さきにお送りさせていただいております資料1、令和7年度東淀川区運営方針自己評価、資料2、東淀川区将来ビジョン原案、資料3、ワークショップ用シート、資料4、部会別委員名簿、こちらのほうはお持ちいただいておりますでしょうか。

それでは、ここからは生島副議長に進行のほうをお願いいたします。副議長、よろしくお願いいたします。

○生島（篤）副議長　こんばんは、生島です。

本日、議長の幸田さんが来られていないので、副議長の私が進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、本日の会議の流れについて簡単に説明します。

まず、次第にあります議題1、令和7年度東淀川区運営方針自己評価について及び議題2、東淀川区将来ビジョン原案について、区役所から説明をしていただきます。説明が終わりましたら、全体を通して委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。存じます。

部会再開後に、各グループで出た意見を発表していただきたいと思います。

それでは、区役所から説明をお願いいたします。

○吉田課長　そうしましたら、地域課長、吉田でございます。よろしくお願いいたします。

お手元資料の1をご覧くださいませでしょうか。表紙をめくっていただきました裏側、経営課題1－1をご覧ください。

テーマは、「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」でございます。

まず左側、具体的取組といたしまして大きく2点、地域の実情に応じた地域活動協議会に対するきめ細やかな支援と、それから地域活動協議会の認知度向上に向けた支援を行いました。

次に、右側でございます。アウトカム指標でございますが、地域の特性やニーズ、課題に応じて、事業を改善・創出した地域活動協議会の数を令和8年度末までに区内全17地域とすることとしております。令和7年度末時点では、17地域分の12地域ということで未達成となっておりますが、自己評価にございますように、その数につきましては年々着実に増加をしてきております。

また、地域活動協議会の認知度につきましては、区民アンケートの結果では、令和6年度から7年度にかけまして若干低下をしておりますが、各地域活動協議会では事業の改善・創出でありますとか、またこれまで地域活動に関わりの薄かった住民の方の参加の促進に取り組まれておりまして、区役所からも支援を行っているところです。引き続き区役所といたしまして、各地域の特性や実情に寄り添った支援を継続しまして、地域活動協議会の自律的な運営を促進してまいります。

続きまして、資料の次のページの経営課題1－2「にぎわいのある元気なまち」につきます。

ては、ご覧のとおり、指標を達成しておりますので、説明は割愛をさせていただきます。

これ以降の各課題につきましても、指標を達成しているものにつきましては、同様の取扱いとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○上林課長 続きまして、企画調整担当課長の上林と申します。よろしくお願いいたします。

お手元の資料1の経営課題1－3「区民による西部地域のまちづくり」の資料をご覧ください。

この経営課題における取組は2つありますが、下側のもと西淡路小学校に係る活用方策策定につきましては、既に事業者公募を進めておりますので、説明は割愛させていただき、区民による西部地域のまちづくりを中心に説明をさせていただきます。

具体的な取組といたしましては、西部地域バリアフリーまちづくり協議会を1回3月に、まちづくり構想部会を年6回開催するとともに、各地域が主体となったワークショップの開催の支援であるとか、アクションプラン作成の支援を進めてまいりました。

そして、アウトカム指標としては2つ設定しており、1つ目は令和8年度末までに区西部地域8地域のアクションプランを作成することとしております。令和7年度末時点では、8地域のうち3地域の策定にとどまっており、未達成となっておりますが、残りの5地域におきましても検討に着手している地域も多く、引き続き支援を行うことでアクションプランの作成を進めてまいります。アクションプランの作成に対しては、地域別保健福祉計画や個別避難計画の策定の取組とともに、連携して取り組んでいきたいと考えております。

2つ目の指標といたしましては、新大阪駅東口のまちづくりビジョンに基づく土地活用を進めていくこととしております。令和8年度末までに2件以上の実施を設定しているところです。これにつきましては、西部地域バリアフリーまちづくり協議会で取りまとめた新大阪駅東口まちづくりビジョンを踏まえた上で、新大阪駅周辺のいろんなプロジェクトの動向に注意をしつつ、土地を所管している方とも協議をしながら取組を進めていきたいと考えています。

一方で、各大規模プロジェクトの動向によって、場合によってはアウトカム指標についても見直しも必要となると考えています。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○堀田課長 続きまして、私、安全安心企画担当課長の堀田でございます。

私のほうから、資料の11ページに飛びまして、経営課題の4－1から4－3につきまして、ご説明を申し上げます。資料のほう、よろしいでしょうか。

まず、経営課題4－1「防災意識が高いまち」でございます。

左側の具体的取組（実績）でございますが、こちらにつきましては、SNS等を活用いたしまして、防災情報や地域の防災に関する取組の発信に努めるとともに、初期初動体制の訓練、女性の視点を考慮した地域主体の訓練、福祉避難所や医師会等の関係機関と連携した訓練など

を実施いたしました。

また、新大阪駅周辺地区帰宅困難者対策協議会、こちらの開催などにも取り組んでおります。

また、個別避難計画につきまして、地域別保健福祉計画、西部地域アクションプラン、こちらと連動しながら機運の醸成を進めております。

右上段に移りまして、アウトカム指標でございます。

こちらにつきましては未達成となっておりますが、こちらにつきましては令和8年度末を目途としております。今回7年度末ということでの未達成となっております。

内容につきましては、まず1点目、地域の防災訓練等を行う中で、令和3年度と比較し、新たな人材やつながりが増えたと感じる地域が17地域全てで達成するとしております。こちらにつきまして、令和7年度末時点では12地域となっております。

2点目でございますが、福祉避難所・緊急入所施設の指定数につきまして、22施設から10%増加させるとしているところ、現状維持のままとなっております。こちらにつきまして実態といたしましては、令和7年9月に淀川キリスト教病院、老人保健施設、こちらが増えたのでございますが、逆に井高野のデイサービスセンターが昨年度末で終了しているということで、結果的に22施設のままとなっております。

中段の自己評価でございます。こちらにつきましては11地域で初期初動対応、要配慮者支援の観点を取り入れました訓練の実施支援をすることによりまして、徐々に地域の訓練に浸透していると感じるというような声をお聞きしております。

下段の今後の方針といたしましては、地域それぞれ特性がございます。こちらの特性に応じました訓練の実施支援、また災害対応の経験がある職員の体験談等を織り交ぜまして、これら地域の自助・共助、これらも踏まえましたが地域防災活動の重要性につきまして、引き続き啓発を行ってまいりたいと考えております。

続きまして、次のページとその次のページ、まず経営課題の4-2「防犯意識が高いまち」、4-3「交通安全への意識が高いまち」、こちらにつきましては共にアウトカム指標を達成しておりますので、説明のほうは割愛させていただきます。

私の説明は以上でございます。

○古川課長 皆さん、こんばんは。企画総務課長の古川でございます。

本年4月1日に東淀川区役所は組織改正をしまして、この区政会議の担当も企画総務課、私のほうで担当することになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、私のほうから経営課題5について説明をさせていただきます。座って説明させていただきます。

それでは、資料1の14ページをご覧ください。

経営課題5-1「区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営」につきまして

は、アウトカム指標の達成状況で言いますと、区政会議委員の本会出席率が令和8年度末、今年度末までに75%以上ということで、令和7年は67.7%になっていて未達成かなと思われるんですけども、この先、令和6年度から7年、8年に向けて75%を達成する見込みということで達成とさせていただいております。

それでは、ページをめくっていただいて15ページ、経営課題5－2「伝えて、行動につなげる情報発信力の強化」でございます。

具体的取組としましては、区民が必要とする情報発信の強化、行動につなげる情報発信力の強化に取り組んでまいりました。

右側のアウトカム指標の達成状況でございますが、広報紙の配付部数及びSNSフォロワー数を令和8年度末までに合計5万以上と目標設定をしておったんですけども、令和7年度の実績で申し上げますと、3万6,972ということで、結果は未達成となっております。

自己評価のところをご覧いただきたいのですが、広報紙につきましては新聞発行部数の減少に伴い、新聞折り込み部数は減少しているものの、個別配付についてもチラシやデジタルサイネージ等の広報効果により、微増ですが増加傾向にございます。また紙ベース以外に、区のホームページや大阪市LINE公式アカウント等でデジタル媒体の広報紙の読者も一定数見込まれております。

SNSのほうですが、区役所のイベントや講座にてSNSの広報をすることで、大阪市公式LINEアカウントの新たな「友だち」の獲得に取り組んでまいりました。LINEターゲットリーチ、LINEを送って、どれくらいの方に到達するかという数なんですけれども、昨年度末、6年度末から34%増加することを達成しております。

今後の方針といたしましては、広報紙については、区民の興味、関心が高い内容の記事を掲載する等、情報の精査をすることで、限られた紙面でより効果的な情報発信の工夫を行ってまいります。また、ご覧になっていただいているかと思うんですけども、新たにクイズの連載、住みます芸人の福人さんに記事の中に出演していただきまして、これどう思うというような連載記事を始めまして、毎月の特集記事に関心を持っていただく工夫など、手に取ってもらえる魅力的な紙面づくりに努めてまいります。

SNSにつきましては、区民の興味、関心を引き、拡散したくなるタイムリーな情報を積極的に発信し、イベントでのLINEの友だち募集の啓発などにより、新規フォロワーの獲得に取り組んでまいります。

16ページ、経営課題5－3「快適な窓口サービスの提供と利便性の向上」でございます。

こちら具体的取組としまして、住民情報窓口の混雑緩和、窓口業務委託、窓口サービスの向上に努めてまいりまして、アウトカム指標の達成状況について、コンビニでの証明書の交付割合、令和8年度末までに51.8%ということで、こちら令和7年度の実績が48.6%と、6年

度、7年度と少しずつ増えていっておりまして、8年度末には達成する見込みで達成となっております。

最後、17ページをご覧ください。

経営課題5－4でございます。「区民の役に立つ区役所を担う職員づくり」ということで、職員力の向上に努めてまいりました。

右側のアウトカム指標の達成状況でございますが、東淀川区民のために尽力したい、東淀川区を今以上によくしていきたいと思う職員の割合、令和8年度末まで毎年度90%以上を維持するというので、令和7年度95.7%で達成ということになっています。

説明については以上でございます。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

引き続き議題2、東淀川区将来ビジョンについて、区役所から説明をお願いいたします。

○古川課長 企画総務課長、古川でございます。

引き続きまして、将来ビジョンの原案について説明させていただきたいと思います。

送付資料の2をご覧くださいませでしょうか。

まず、この資料2ページ目、1枚めくっていただきますと、「将来ビジョンとは」とあるんですが、将来ビジョンとは何かということなんですが、将来ビジョンは、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、区のめざす姿、いわゆる将来像とその実現に向けた施策展開の方向性を示すものでございます。

計画期間は5年間で、区民の皆様と共に施策を進めていくための指針となります。

将来ビジョンの単年度ごとのアクションプランとして毎年策定しておりますのが、東淀川区運営方針でございます。進捗を管理しています。中長期の方向性をビジョンで示しまして、毎年の具体的取組は、運営方針で計画、点検するという関係になります。

もう一つ、区の地域保健福祉計画があります。地域保健福祉計画は、区の地域保健福祉分野における方向性や取組の概要を示すものです。これまでビジョンとこの計画を別々に策定しておりましたが、どちらも区のめざす将来像の実現に向けた施策展開の方向性等を示すものであり、区民の皆様により分かりやすく理解いただくために、今回、一体的に策定することといたしております。

資料を1つ戻っていただいて、将来ビジョンの概要について説明をさせていただきます。

今、東淀川区内では、阪急電鉄京都線・千里線の高架化、柴島浄水場の機能集約に伴う用地の開発、さらに北陸・リニア新幹線の整備等を見据えた新大阪駅周辺の都市再生など、複数のプロジェクトが進んでおり、今後、まちの姿が大きく変わってまいります。

こうした変化を見据え、「住んでみたい！やっぱり良かった！つながりのあるまち 東淀川区」を区の目標として掲げました。

今年2月に開催しました区政会議委員の皆さんに参加いただいた勉強会でも、区政会議委員の皆様からも「つながり」というキーワードがたくさんあったかと思うんですけども、地域のつながりを大切にしながら、誰もが安全・安心に楽しく暮らせる、そして住みやすいまちとして選ばれ続ける、よりにぎわいと活気あふれる魅力あるまちをめざしてまいりたいと思います。

あわせて、「一人ひとりの人権が尊重されるまち」を掲げ、人権尊重の理念の下、誰もが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりを進めます。

区の目標（めざす姿）を実現するための柱として、3つの柱を掲げております。

1つ目の柱は、「自助・共助を担う地域力とにぎわいのある元気なまち」です。具体的には、地域活動協議会による自律的な地域運営を促進し、区民が主体となった地域のまちづくりを進めます。あわせて、にぎわいづくりを通じてまちの活力と魅力を高めてまいります。

2つ目の柱は、「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられるまち」です。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、安心して子育てができる環境を整えます。また、子どもと子育て家庭を地域の人々と交流しながら、社会全体で支える総合支援体制を構築し、子どもが自立して生きる力を身につけるための取組を進めます。さらに、住み慣れた地域や家庭で暮らし続けられる体制づくり、地域力を生かした支え合い、困り事を受け止めるつながりづくり、そして生き生きと暮らす健康づくりに取り組み、安心して暮らせるまちをめざします。

3つ目の柱は、「安全・安心のまち」です。防災意識、防犯意識、交通安全への意識を高め、地域・関係機関と連携しながら日常の安全と災害への備えの両面から安心できるまちづくりを進めます。

なお、現行の今策定されている将来ビジョンでは、一つの柱としております区民の役に立つ区役所があるまちについては、将来ビジョン、施策の推進の基盤として取り組んでまいります。より便利な区役所をめざし、区民ニーズの的確な把握や区政情報の発信力強化、DXの推進による手続などの利便性を高め、市民のQOL（生活の質）の向上につなげます。また、職員力の向上、そして大学、企業等との官民連携も進め、より実効性の高い施策推進を図ります。

以上が、現時点で将来ビジョンの原案として区役所のほうで取りまとめている概要でございます。めざす姿や施策の方向性につきましては、委員の皆様から率直なご意見をいただき、よりよい計画としていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の安全・安心・まちづくり部会では、主に1と3の柱についてご意見を頂戴いたしたいと思っております。計画期間は来年度、令和9年度からの5年間で、将来像といっても短い期間になりますが、こんなふうになったらいいなとか、実現には時間がかかるかもしれませんが、わくわくするような将来に向けた夢のあるご意見もいただけたらと思っております。

また、冒頭にも説明しましたように、2の柱につきましては、区の地域保健福祉計画と一体

的に検討を進めてまいります。来月7月21日に開催を予定しております教育・健康・福祉部会でご議論いただくことになっておりますので、ご都合がよろしければ、そちらへのご参加もお願いしたいと思います。

私からの概要についての説明は以上です。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

では、皆様から議題についてご意見を賜りたいと存じますが、一旦非公開にして、ワークショップの時間といたします。お手元のワークショップ用シートをご活用いただき、（１）令和7年度東淀川区運営方針自己評価及び（２）東淀川区将来ビジョンへの意見をまとめていただきたいと思います。ワークショップの後、お一人ずつご発言いただく時間を設けたいと思います。

（休 会）

○生島（篤）副議長 それでは、これより区政会議を再開いたします。

では、こちら生島さんのほうから。お一人2分でご意見発表をお願いいたします。

○生島（靖）委員 そういたしましたら、経営課題1－1のところのアウトカム指標の達成状況という形の部分ですけれども、今現在のこの達成状況というのは、課題に応じて、事業改善・創出した地域活動協議会の数というのを一つの指標という形にしていると思うんですけれども、逆に地域活動協議会に対して区としていろんな支援だとか、そういったものを行っているという形であるのであれば、その指標自身を地域活動協議会のメンバーの方に支援いただいたことが有効であったとか、有効でなかったとか、それぞれ17地域あるんですから、それぞれの会長さんにでも全部聞いて、それを一つの指標にすればどうかなというふうに思いますので、それを挙げさせていただきます。

私のほうは以上です。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

引き続きお願いいたします。

○上田委員 すみません、今いろいろ話して一番頭に最後に残っているのが、ごめんなさい、ちょっと飛ぶんですけれども、防災のほう、防犯、そちらのほうでもいいですか。そちらのほうでいろいろしていたんですが、まず防災については、もう前々から出ていますけれども、防災リーダーさんの高齢化、成り手がいない、だからもうこれは個人的に認識して、おのれの身は自分で守るというような話合いになって、あとは防犯のほう、あちらのほうは今ちょっといろんなお国の方、国際色豊かになって、いろんなお国柄の違いがあるので、その心配をここでいろいろ話していました。これについてはどういうふうにするかというのはまだ具体的には決まらないんですけれども、その辺の話合いをこのグループではしました。

以上です。

○玉山委員 私も、防災意識が高いまちのほうで思ったんですけれども、実際防災訓練を年に1回でも行って、実際体験するのが一番いいかなというのを話していました。揺れてみるとか、暗い道を歩くとか、煙に巻かれてみるとかというのを実際に体験して、それを自分の意識の中に取り込んで、自分たちの生活に落とし込めたらなというふうに思いました。

以上です。

○植原委員 私からは3点申し上げたいと思います。

1点目は、立派な東淀川区創設100周年記念誌が作成されましたが、発行部数に限りがあり、区民全体に行き届きませんので、ダイジェスト版を作成して各町会の回覧に供してもらいたい。

2点目は、アウトカム指標を作成するに当たって、尺度・基準というものがあれば分かりやすいと思いますので、できれば作成してほしいと思います。

3点目は、広報紙についてですが、発行部数は公表されていますが、実際に読まれている部数が重要と思いますので、その部数も公表してもらいたいと思います。

以上です。

○生島（篤）副議長 引き続きお願いいたします。

○光本委員 すみません、光本です。教育・健康・福祉部会より本日参加させていただきました。ありがとうございます。

こちらの様々な意見、まず評価指標であるとか、アウトカムであるとか、課題意識があるということに触れて、こちらは教育・健康・福祉部会のほうでも評価、この評価指標は本当に課題をきちっと特定するんだろうかみたいな話はよく出ます。今後の、あしたの委員たちとのいろいろな話合いにもこちらのご意見を役立てて、いろいろ考えていきたいと思いました。

また、地域の支え合い、高齢化、担い手不足なども聞きまして、いま一度、自助、自分の力みたいなものを何とかするというのをきちんと見直していくフェーズが必要なんじゃないかなと。自分が自分のことをちゃんとやるということが、すなわち地域を助けるぐらいの感じで、そういう指針みたいなものをきちっとつくって、つまりこういうことだよというのが一目瞭然で分かるような、そういうものがあったら、みんな使い勝手がいいんじゃないかなと思いますし、自助の達成率というのもそっちのほうで補足する方法を考えていただけたらなと思いました。ありがとうございます。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

引き続き、B班のほうへ移りたいと思います。山口委員からどうぞ。

○山口委員 座ったままで申し訳ありません。

自己評価について、まずこちらのほうで我々、話し合いながらやったんですけれども、防犯、防災、交通安全というところについて、達成されているA評価というのがあったんですけれども、これについてもやはりアウトカムの基準があまりいい基準じゃないのかなと。甘い基準を

されていて達成されている。我々市民感覚であれば、全く達成されていないんじゃないのかなというところを質問でぶつけました。

防犯につきましても、外国人問題とか民泊の件とか、そういったところも我々としたら地域には全然情報が下りてきていないというところで、今後どう付き合っていくのか。コミュニケーションをどう取っていくかという、最初の入り口をなかなか見つけにくいなというところを感じております。

それから、町会は、我々ほとんど町会の関係の人間が集まっていると思うんですよ。地活協と役員を兼ねている方もかなりおられると思うんですけども、やはり町会にかなり行政としては依存されている部分が多いというところで、町会の加入者がどんどん減ってくるということに対して、我々も危機感を持っておるんで、これはもう行政としても加入を促進してほしい。7年度、8年度は予算がひとつもついていないというのではなくて、令和9年度予算については必ず獲得していただいて、何らかの形で町会の必要性を各戸に配る。未加入の家についてもどんどんアピールしていただきたいなと思っております。そうでないと、なかなか協力がもうできないという状態になって、もう町会自体は存続するけれども、連合町会にはもう入らないとか、地活協についてはもう協力できないというところが出てくる可能性もあるので、その危機感というのを、私自身、肌で感じております。ぜひ加入促進を行ってください。

以上です。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

引き続き前川委員、お願いいたします。

○前川委員 大隅東地域の前川です。

私も山口さんと同じなんですけれども、やっぱり役員の成り手がいないというのもありますし、高齢になってくる。横のつながりも、いや、いいわと言う人がいっぱいいらっしゃいます。なので、やっぱり町会のいいところをアピールする、町会マップみたいな形で作ってもらえたらなとか思ったりしています。

以上です。

○茶谷委員 下新庄の茶谷です。座ったままで失礼します。

私も山口さんとほとんど同じなんですけど、経営課題の1-2ですけれども、「にぎわいのある元気なまち」の町会加入促進ということで、様々なイベントにおいて町会加入促進チラシを配布とあるんですが、これ達成になっているんですけれども、私、そのチラシとかを見たことがないんですけれども、町会の手引も見たことなく、今日、山口さんが持ってきていただいたので、見せていただいたんですけれども、見たこともないのに達成しているというので、これはどういうことかなって少し疑問に思いました。

あと、先ほどもいろいろお話しさせてもらったんですけれども、東京都のほうでは自治会デ

デジタル化推進助成というのを実施されているんですが、大阪では実施予定はありますかという質問をさせていただきました。やっぱり急に紙ベースから電子版というわけにはいかないかもしれないんですけども、少しずつ変わっていく準備をすることは必要かなと思います。地域活動協議会のもともとのところは町会、そして町会があって連合町会がある。そして、地域活動協議会というところがやっぱり活性化されていくと思うので、その一番最初の町会のところをもっと力を入れて盛り上げていく方法を皆さんと考えていけたらなと思っています。

以上です。

○古川委員 大桐地域の古川です。

今日はこちらのテーブルで皆さんと和気あいあいとお話しできて、いろいろ勉強になることもありましたし、先ほど皆さんがおっしゃったように、私もちょっとアウトカム指標の数字に関しての基準が不明瞭ではないかなというのが率直な意見です。

将来ビジョンに関しては、先ほどもちょっとお伝えしましたが、かなり区の庁舎は老朽化されているので、できれば早い時期に建て替えしていただけたらうれしいなと思っています。

それと、ちょっと今回のテーマから外れるかもしれないんですけども、安心・安全という意味の部会なので、お伝えさせていただきますけれども、大桐地区でアライグマを見かけたという報告がありまして、これは勝手にももちろん駆除できないですし、こういった場合、どうしたらいいのかなというお声がありましたので、一応区役所さんのほうにお伝えさせていただきます。

以上です。

○生島（篤）副議長 ありがとうございます。

最後になりましたが、私も西淡路地区の生島です。

もう皆さん、B班でお話しされていたことと、ほとんどそれと同じなんですけれども、やはりつながるというのがこの東淀川区のビジョンということでありながら、なかなかそうならないよねというのが率直なところなんです。どうしても町会に入ると、何か役員をさせられるとか、用事を頼まれるとか、何かしんどいことを先に想像されてしまうんだろうなというのがあって、どんな組織でもそうだと思うんですけども、入ってしまうとやめられないとか、何かそういう悪い印象、そういうところをもう少し楽しくつながって助け合おうという、そういうもうちょっと明確なメリット。やっぱり町会に入ることによってつながって、安心・安全なまちなんだよということを理解してもらって、そういう働きかけであったりとか、町会を超えてというのかな、東淀川区でこういうことができる人を募集しますと。私、多分前回のときにも言ったと思うんですけども、そういう公募というような扱いで学生からどんな人でも手を挙げてもらえるような、逆にここの地域を活性化したいと思っている人が必ずいると思うんで

すよね。なので、そういう人をもっともっと広く募集、公募するという形を取っていただけたらいいなと思いました。

あと、外国人の方がやっぱり増えているという実情もあるので、交流会、異文化交流というんですか、いろんな国の方ともやっぱり交流していかないといけないと思うんですよね。こっちの要望ばかり、あれだよ、駄目だよ、駄目だよという、そういうことばかりじゃなくて、この地域ではこういうことが当たり前なんだよというのを教えてあげるような、そういう交流、受け入れてあげるというのをまず先にしてあげないといけないのかなと思いました。

以上でございます。

以上でありありがとうございました。

本日の発言で、もし言い足りない部分があれば、6月10日水曜までに記入したシートを企画総務課（総合企画）まで提出していただければ、取りまとめて回答されるということです。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

それでは、区役所から何かありますでしょうか。

○吉田課長 地域課長の吉田でございます。

本日、非常に活発なご意見、ご議論を賜りまして、誠にありがとうございました。いただいておりますご意見、例えばアウトカム指標についての設定の考え方であるとか、あとは町会加入とか防災面というところでの横のつながり、あるいは外国人の方が増えて来る中での横のつながりをどうしていくのかというようなところ、日々、区の中で生活されて暮らしていらっしゃる、また地域で活動されている方々の目線で、非常に貴重なご意見をいただけたなというふうに感じております。

いただきましたご意見につきましては、副議長からもございましたけれども、後日、改めて回答をさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

○生島（篤）副議長 それでは、そろそろお時間となっておりますが、ご出席の議員の皆様より、もしご助言などがございましたら、簡素にお願いできればと思います。いかがでしょうか。

○笹川議員 お疲れさまです。府議会議員の笹川です。本日もありがとうございます。

様々なお話を聞かせていただいていたいました。その中で、アライグマは大桐の地域の皆さん方からも何件か通報をいただいているんですが、実は大桐だけじゃなくて、井高野でも出ております。相川でも出ております。なので、ほぼ東淀川の北半分は出ているんじゃないかなというふうに思っていますが、そんな中、捕獲できない法律になっているので、注意してくださいしか言えないんですけれども、そのあたりは今後の課題かなというふうには思っております。

もう一つは、今、子どもや親も地域の皆さんも暇な人はいないというような、そういう感じがします。本当にそうだというふうに思っていて、町会加入したくない理由の大きな理由

がここにあるんじゃないかなというふうに思っています。そんな中で、役所の皆さん方から地域にいろんなことをやってくれ、やってくれというような話がいくと思うんですけれども、その中でそろそろ地域を合体するんじゃなくて、イベントを合体して、目的の違う2つのものを1つのイベントにしていくとかという工夫が必要なのかなと思っています。

先日、小松地域の防災訓練に行かせてもらいましたけれども、その小松においても学校の引渡し訓練、児童を迎えに行く。あの訓練と一緒に地域も防災訓練をして、そこに幼稚園も入って、さらに警察や消防も来る。こういうことによって横の連携を本当につくりながら、いろんなイベントを1つにしていったりしています。今、僕、井高野地域でやっていますけれども、井高野でこの土曜日は児童たちの引渡し訓練と併せて、親に対する自転車のルール講習を東淀川警察署にさせていただいたりします。これも地域に開放もしています。なので、何か一個一個単体でやっていくということにちょっと限界が来ているのかなというふうに思いますので、そのあたり、いろんなお願いを地域にするんですけれども、こことここはミックスできそうかなみたいなところも併せて、役所の皆さんはいろんな情報を持ってはと思うので、提供いただけたらいいんじゃないかなというふうに思います。本日もありがとうございました。

○生島（篤）副議長　ありがとうございました。

ウェブ参加の横道議員、何かございますでしょうか。

○横道議員　ありがとうございます。初めてオンラインで入らせていただいたんですけれども、すみません、ちょっと私、足をけがしております、申し訳ありません。

入らせていただいた中で感じたのが、ほぼ聞こえていません、申し訳ないことに。グループのところだけはしっかり聞かせていただきまして、本当に大変な中、皆さんが来てくださっているなということと。聞き取り間違いがあったら申し訳ないんですけれども、何か公式LINEをつくって、いろいろそういう町会でも工夫をして、そこの一斉配信だったりとか日程のこと、いろいろ考えてくださっているなというのはすごく感じました。本当にいろんなお知恵を、好事例を横展開していただきまして、東淀川区全体の活性化につながっていけばいいなと思っております。今後とも皆様、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。本日は遅くまでありがとうございました。

○生島（篤）副議長　ありがとうございました。

石川議員、お話しできますでしょうか。石川議員、移動中でしょうか。

すみません、では進行させていただきます。

ほか、今日来られている議員の皆様、もう大丈夫でしょうか。ありがとうございました。

本日いただきましたご意見については、次回開催の本会で、私から報告いたします。

本日の部会の議事は以上になります。皆様、ありがとうございました。

ここからの進行は事務局にお返しいたします。不慣れで申し訳ございません。

○福田課長代理 生島副議長、どうもありがとうございます。

参加委員の皆様もありがとうございました。

本日ご記入いただきましたワークショップ用シートにつきましては、このまま机の上に置いたままお帰りのほうをお願いします。

ただ、シートを書き足りないという方がおられましたら、一旦お持ち帰りいただいて、6月10日までに区役所のほうに再度ご提出のほうをよろしくお願いいたします。

あと、最後に、本日お渡しさせていただいておりますこちらの青いチラシのほうをご覧くださいいただけますでしょうか。こちらは、東淀川区役所では主に区内に拠点を置いております支援者の方の福祉のネットワークづくりを目的としまして、東淀川区生活困窮者サポートネット連絡会、通称、困サポというものを開催しております、年2回程度講演会等を開催しております。

最後に、第24回困サポの「高次脳機能障がいについて知る・学ぶ講演会」のお知らせです。

大阪市更生療育センター副所長の川端正嗣さんによります高次脳機能障がいの当事者の方を講師にお迎えしまして、高次脳機能障がいについて学びます。

日時につきましては、令和8年7月28日火曜日、14時から16時の間です。場所は、こちらの東淀川区民ホールのほうで開催いたします。皆様の参加をお待ちしております、参加につきましては、令和8年7月17日金曜日までに、メールまたはファクスのほうでお申込みのほうをいただきたいと思いますと考えております。定員は120名で、申込みのほうは先着順となります。申込みされた方につきましては、後日、事務局から連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、令和8年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会を閉会いたします。本日は遅くまでありがとうございました。